



与野本町小だより

～かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 助け合う子～
ニコニコ・しっかり・美しく（本町の心）

7月号

令和8年6月30日

さいたま市立与野本町小学校

自分で整えること～試行錯誤や失敗のススメ～

校長 小野圭司

6月号では「自分で気付くこと、選ぶこと」について話題としましたが、7月号では「自分で整える力」についてお伝えします。本校では今年度の重点の一つとして「児童の自己調整力の向上」を掲げていますが、子どもたちには「自分で気付いて、選んで、整える力」と説明しています。このことについて、保護者・地域の皆様にもご理解いただきたいと考えています。

まず、「整える」とは、整理整頓のように本来の正しい状態に戻すことをイメージされるかもしれませんが、本校では「よりよい状態にもっていく」という意味で捉えています。最もよい状態になるように準備したり、自分に合った方法を探したりするイメージです。そのため、1回でうまくいくとは限らず、行きつ戻りつしながら試行錯誤する場面もあります。時には失敗することもあります。

また、ある元歌手の方がご自身の子育てについて、インタビューや著書の中で次のような趣旨の発言をされていたことが印象に残っています。「親が先回りして失敗を取り除くべきではない」「失敗や挫折から学ぶことの方が多い」「親は転ばせない存在ではなく、転んだときに立ち上がれるよう見守る存在である」といった内容です。つまり、「失敗しないように育てるのではなく、失敗から学べる子に育てたい」ということです。

私は、試行錯誤や失敗は、自分で整える力を高めるために必要な経験や過程、そして時間ではないかと考えています。例えば、自分に忘れ物が多いことに気づき、朝に持ち物を確認することを選んで試してみたものの、やはり忘れ物をしてしまい、授業で困った経験をする。そこで、朝は時間に余裕がないことに気づき、余裕のある夜に持ち物を確認することを選んでみると、忘れ物が少なくなった。このように、必ずしも最初からうまくいくとは限りませんが、自分で気づき、選び、整える経験が大切ではないでしょうか。そして、時には少し困る経験も必要です。こうした経験や過程、時間があるこそ、自己調整しながら行動する力が育つと考えます。そのためには、教師も親も「口を出しすぎない」という、少しの我慢が必要かも知れません。

6月3日（水）の台風6号への対応につきましては、ご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。前日には通常どおりの登校と連絡しておりましたが、当日朝の予報や状況を踏まえ、子どもたちの安全を最優先に考えた結果、臨時休業と判断いたしました。

なお、6月26日付でスクリレにて配信いたしました「今後の一斉臨時休業の基準と対応等について（お知らせ）」のとおり、今後は市教育委員会と一層連携しながら対応してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。